



記録、再生。



**持っていけるものはありません。**

**置いていけるものはあります。**





**A Will Records は、**

**あなたが特定の誰かのために言葉を綴り、**

**それをあなたが話すところを映像で記録して、**

**遺しておくためのサービスです。**

**遺言としての法的効力はありません。**

**あくまでも、あなたの気持ちを、**

**メッセージとして遺しておくためのものです。**



「受け入れる」

**死ぬことといっしょに生きたい。**

私たちは、いま生きていますが、  
いつか必ず死にます。  
それは誰にも平等にやってきます。  
いつやってくるかは誰にもわかりません。

どうせ死ぬことが決まっているならば、  
恐れたりせず、目を背けたりせず、  
友人のような関係を築けたらいいのと思う。

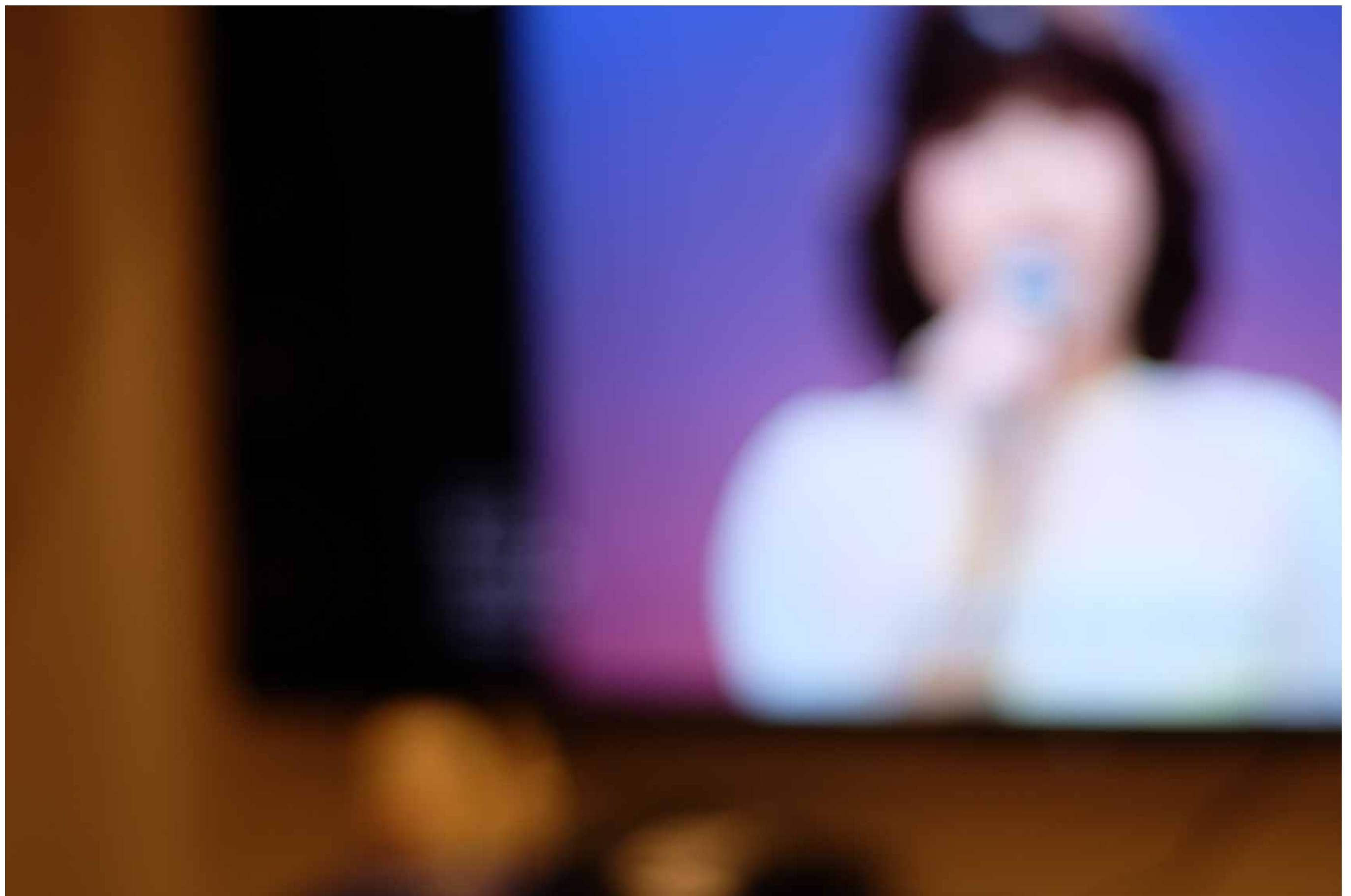
死んでしまうことは、もちろん悲しい。  
でも、悲しいだけのものにするのは辛い。  
死んでしまうということは、生きたということ。  
その証を遺しておくことで、  
死ぬこととの関係を少し親しいものにできないだろうか。

そんなことを思いました。

死ぬことに照準を合わせて準備しておくなんて  
簡単なことではないですね。

でも、遺しておきたい人や理由がありませんか？  
それこそが、あなたが生きた物語なのだと思います。

あなたは誰に何を遺したいですか？





「備える」

**万が一に抗う。**

それは、突然やってくることもあります。

それがいちばん悲しい。

そして、その可能性は、

やはり誰にもあるものだと思います。

旅立つ者と残される者を隔てる、

もう会えないという絶対的喪失感。

備えておくことで、

残される側の負担を少し軽くできるかもしれません。

相方、子ども、家族、友達や仲間。

誰に向けて遺すのか、

そこにはあなただけの物語があるはずです。

もちろん、

万が一などやってこないことがいちばんの願いです。

ですが、どちらにしても、

いつか必ず終わりはやってきます。

その約束事を早めに見据えて準備しておくことで、

大切な人たちの未来に

笑いを増やすことができるかもしれません。

そのためには、

時間にも健康にも余裕があるうちに

笑って遺すということが出来たらいちばんいい。

いい準備ができれば、結果は付いてくると信じています。



「対話する」

**自分とふたりきりで話してみる。**

カメラを前に、何を話しましょうか。

いきなり話そうと思っても、  
なかなか難しいですね。

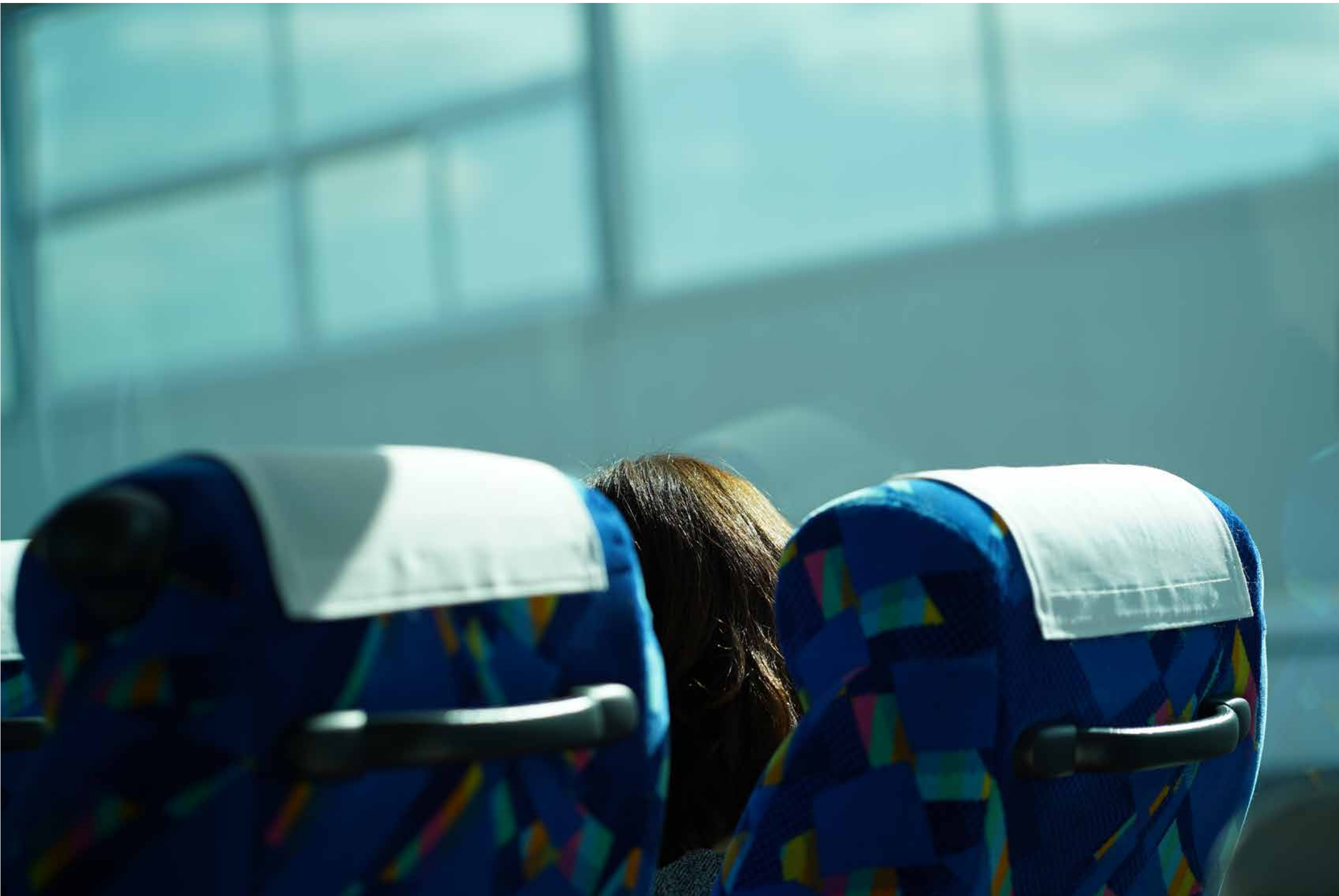
まずは、それを整理しましょう。  
あなたが大切にしてきたものを、  
言葉にしてみましよう。

どう生きてきたかを振り返り、  
省みて、何を遺したいか。  
あなたが、あなた自身と話をすることで、  
出来上がるシナリオがあると思います。

あなたの現在を、出力すること。  
言い方や伝え方の間違いに気づいたって、  
生きていれば、あとでいくらでも修正できます。

とにかく、思い立ったらその時だと思います。  
大切だと思うのは、遺したいという気持ちがあること。  
あなたのその思いがなければ、この記録は成り立ちません。  
あなたがあなたの言葉で話すこと。  
シナリオを書くのは他の誰でもない、あなたです。

あなたが遺したいと思った人が、  
あなたが遺したメッセージと対話する日は、  
きっとやってくると思います。



「再生する」

**記録しておけば、再生できる。**

あなたが確かに生きたその瞬間を、  
あなたの言葉と声、表情そのまま、  
映像で記録して遺しておく。

記録しておけば、  
再生してもらうことができます。

あなたが旅立ったあとも、  
残された人たちの意思があれば  
そのメッセージは何度でも再生されます。

例えば家族ならば、  
お盆などにみんなで集まってそれを観る、  
そんな恒例になっていくのもいいなと思います。  
そこに徐々に笑顔が増えていったなら。  
思い出すことをみんなで楽しめたなら。

そして、  
特定の誰かのために気持ちを遺そうと  
あなたが自分と向き合った時間。  
整理できた自分の気持ち。

それを言葉にして出力することで、  
あなた自身の現在地点も整理されて  
スッキリするかもしれません。

今までとは少し違うリズム感で、  
再び生き直せるような気持ちで、  
残りの日々、新しい今日をどうぞ。





## Flow

- 
- 1** ヒアリング・お打ち合わせ  
まずは、お話ししましょう。  
遺すことについて考え始めましょう。

---

  - 2** ご提案・お見積もり  
どのような内容で制作するか  
イメージできたら、  
お見積書を提出いたします。

---

  - 3** ご契約  
この記録映像が必要だと判断されましたら、  
ここからいっしょに制作を始めましょう。

---

  - 4** シナリオ作成  
あなたの物語を書き起こしましょう。  
言葉にするお手伝いをさせていただきます。

---

  - 5** 撮影・編集  
書き上げたシナリオをもとに撮影を行います。  
撮影完了後、編集して仕上げます。

---

  - 6** 内容チェック  
出来上がった映像を確認していただきます。  
気になる部分は修正させていただきます。

---

  - 7** 完成・納品  
①DVDまたはBlu-ray Disk  
②高画質動画データ  
③限定公開形式でYouTubeへアップ  
上記3種類をパッケージして納品いたします。

---

  - 8** お支払い  

基本パック ¥44,000 (税込)
-----------------------

※ご希望される内容により、制作費が別途必要になる場合は、これに加算させていただきます。

※遠方へ出張が必要な場合、ご相談のうえ、交通費や宿泊費などを加算させていただく場合がございます。

※その他、契約に関する詳細は、打ち合わせ時にご説明いたします。

## Hearing

A Will Records は、自分自身と話をするところから始まります。  
まずは、自分に問いかけてみましょう。

### WHY <なぜ>

遺すことについて興味を持たれたのは何故ですか？  
気持ちの根っこにあるその動機を教えてください。

### WHO <誰に>

誰のために遺したいですか？  
思いつく人の名前をすべて書き出してみてください。

### WHAT <何を>

どのような思いを、どのような言葉で遺しておきたいですか？  
短い言葉でもかまいません。  
まずは、正直な気持ちを書いてみてください。

### WHERE <どこで>

撮影場所はどこがいいですか？  
また、その理由を教えてください。  
あなたが遺すメッセージの背景になります。

### WHEN <いつ>

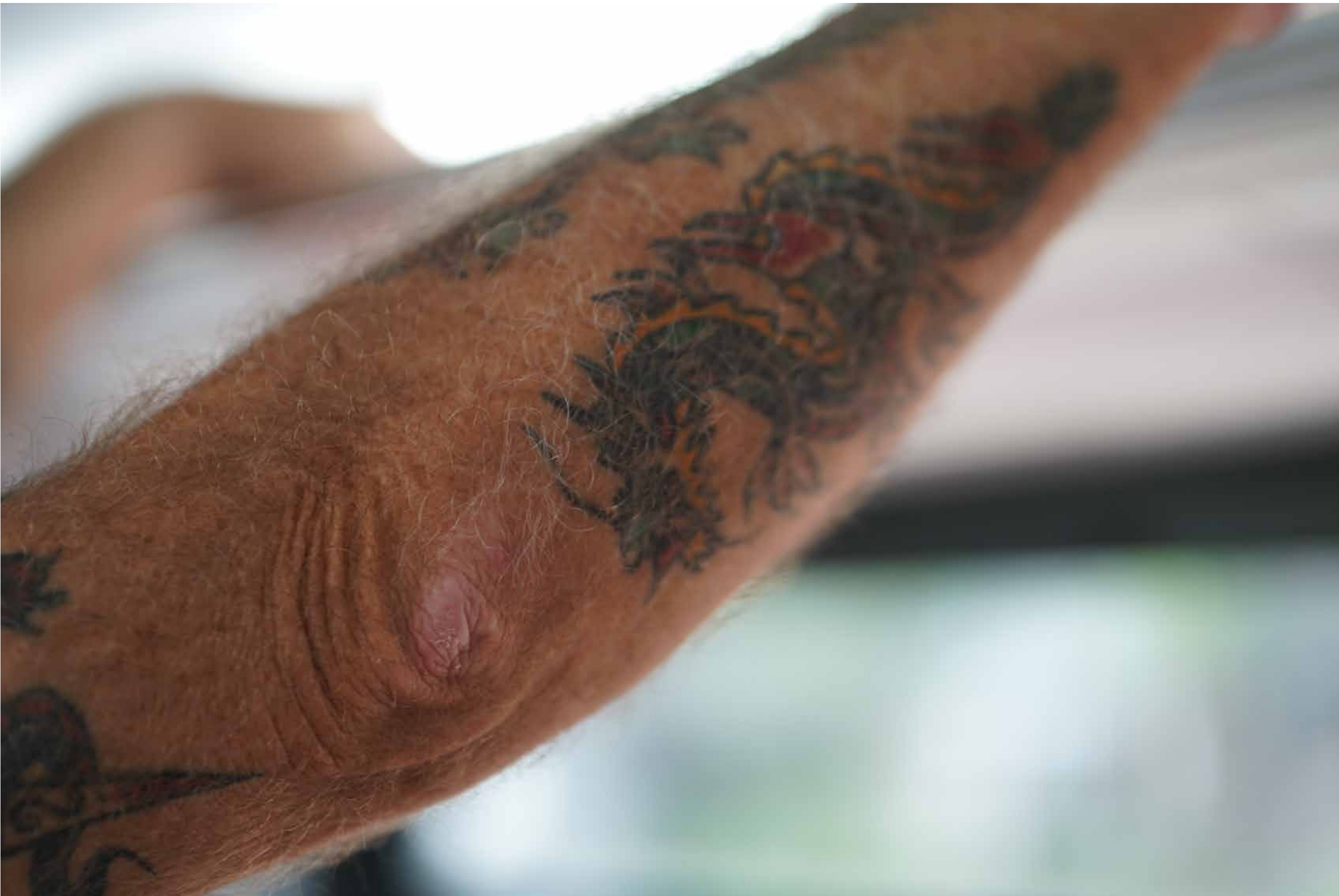
遺しておいた映像を、いつ観てもらうことを想定されてますか？  
映像が再生される状況はどのようなものでしょう。  
自分はいないその場面を想像してみてください。

### HOW <どのように>

どのような映像を遺したいとお考えですか？  
抽象的な言葉でも大丈夫です。  
全体を包むイメージはどのようなものに仕上げたいですか？

Package





## Statement

遺書を書こうと思った。

死にたくなかったという訳ではなく、  
もしものことが自分の身に起こったとき、  
大切な人たちに自分の思いを遺しておきたい。  
そう思ったのです。

責任と言えば聞こえがいいかもしれませんが、  
やってくるかもしれない未練が怖いだけ。  
その悔しさを想像すると受け入れがたいのです。  
でも実際は、死んでしまったら未練など感じることはありません。  
だけど、自分の代わりに、  
残る人たちに背負わせてしまうものにはしたくないなと思いました。

いざ書き出してみると、  
自分の過去と向き合う、そんな作業でした。  
自分を省みる、とてもいい機会になりました。  
謝りたいことや感謝の気持ちが込み上げてきて、  
なんか泣けてきました。  
でも、どうせ遺すのなら、  
受け取ってくれた人たちが笑えるようなものを遺したい。  
そう思っていることに気づきました。

そうなると、文字もいいけど、  
映像で記録しておくほうが伝わりやすいんじゃないか。  
そんな着想が始まりでした。

誰もが、事情それぞれ、  
大変なあれやこれを抱えながら、なんとか生きていく。  
天寿を全うするような人生もあれば、  
不運な事故や病気で命を落としてしまう方もいる。  
まさか私が、きっと皆さん、そうだったのではと思います。

地震、津波、台風、暴雨、疫病、  
まさかは、まさかでなかった。  
そんな時代を生きています。  
日頃の備えの重要さをその都度痛感しています。

備えは、余裕があるうちにやっておくと楽しめるのではないか、  
そんなふうに思います。  
楽しめると、いい備えができるような気がします。  
想像することをちゃんと楽しめたなら。

A Will Records は、そんなものにしていきたいと思っています。  
前向きに生きるための話ができればいいなと思います。

CRAB WORKS  
平井 勇太





**さようならの後で、また会いましょう。**

企画・制作：平井 勇太 (CRAB WORKS)

デザイン：川口 優子 (O-DESIGN CHANNELS)

写真：田中 槇太郎

司法書士：俣野 裕哉 (俣野ひろや司法書士事務所)

SPECIAL THANKS :

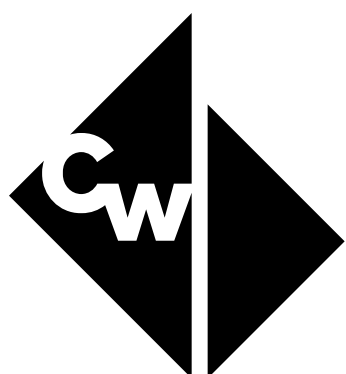
荻 弦太 (CONSTRUCTION NINE / CRAB WORKS)

奥田 礼二郎

井篠 知也 (銀座そば)

松崎工芸株式会社

O-DESIGN CHANNELS



**CRAB WORKS KYOTANGO**

<https://crabworks.jp>

Mail [info@crabworks.jp](mailto:info@crabworks.jp)